

福島民友

THE FUKUSHIMA MINYU

第39462号 (日刊)
2014年 (平成26年)
5月6日 (火曜日)

ふくしまの御食事処



訂4-29
1-8648
関社
3-1191
3-1390
3-1472
3-5070
2014

度5弱 24
に強盗 25
死去 23 25
織 5 15



東訪者があると、館内の資料や炭鉱の歴史について説明する渡辺さん



箱根駅前で東洋大を3度総合優勝に導いた酒井さん



県内外で800回以上の演奏会を開くなど、きめ細かく活動する長谷川ファミリー

影

再建の支えのほが
背景にあるのは、避難指
示解除の1年後に待って
る清内留置の終了だ。壁
のぼろぼろとむくむくのま

たかない人からは「理解さ
れないのか」と考えざるを
得なかった。「賠償目当てで避難して
いる」などと罵られるのが耐

食う物も違う「都路、
まだ帰らない」
森谷は早い時期から避難
委員で、芥川賞作家の玄侑
宗久(58)は、個
多くと考えるのが自然だ

と考える。東電が『なるべ
くおきな』のような構えに
なれば、被災者は『なるべ
くおきな』と考えるのが自然だ

ど、生活必
設定する
率)の高い
減税率、ま
れている。

時事用語解説

例えば、標準税率が19.6%のフ
ランスでは5.5%と2.1%の軽減税率
があり、外食を除く食料品、書籍、
公共交通機関などは5.5%、新聞
などは2.1%となっている。

「念には念を
で、安全な暮らし
たい▼大型連休は
で最終日を迎え

芸術文化賞 演奏活動 長谷川ファミリー (福島)

スポーツ賞 東洋大陸上部監督 酒井 俊幸さん (石川出身)

ふるさと賞 みろく 沢炭鉱資料館長 渡辺 為雄さん (いわき)

第24回みんなの県民大賞決まる

県民の榮譽となる功績のあった個人・団体を顕彰する福島民友新聞社主催の「第24回みんなの県民大賞」の受賞者が決まった。芸術文化賞は親子で20年以上前から演奏活動を続け、県内外できめ細かなコンサート活動に取り組み福島市の長谷川ファミリー、スポーツ賞は東洋大を東京箱根間往復大学駅伝(箱根駅伝)で3度の総合優勝に導いた同大路上競技部監督の酒井俊幸さん(37)＝石川町出身、ふるさと賞は地域発展に貢献した常磐炭田の歴史を後世に伝えるため「みろく沢炭鉱資料館」を開館し、館長を務めるいわき市の渡辺為雄さん(88)が受賞した。【3面に関連記事とこれまでの受賞者一覧】

20日、本社で表彰式

表彰式は、福島民友新聞の創刊記念日の5月20日、福島市の福島民友新聞社で行われる。受賞者には、正賞の盾と副賞として50万円がそれぞれ贈られる。

芸術文化賞の長谷川ファミリーは、ハープ奏者で声楽家の長谷川朝子さん(59)とバイオリン奏者の長女千鶴さん(31)、チェロ奏者の長男弘樹さん(27)の親子3人が県内の学校などで演奏会活動を行っている。演奏会は「人々の心を演奏で温かくできたら」との思いから「ほのぼのコンサート」と名付けられた。これまで800回以上を県内外で開くなど、生演奏を聴く機会の少ない地方の子どもたちに音楽の素晴らしさを伝えていく。

スポーツ賞の酒井さんは学法石川高を卒業後、東洋大、コニカミノルタに進んで選手として活躍。コニカ時代には全日本実業団対抗

「賠償目当てで避難して
いる」などと罵られるのが耐
たかない人からは「理解さ
れないのか」と考えざるを
得なかった。「賠償目当てで避難して
いる」などと罵られるのが耐

地理的制約明記せず 自衛隊活動で政府方針

安倍政権は集団的自衛権の行使容認を目指し、憲法の解釈変更の閣議決定に先立って、自衛隊活動の地理的制約を明記せず、政府方針として策定する「政府方針」の骨格を固めた。焦点となっていた自衛隊活動の地理的制約の明文化を見送れば、政府の裁量権拡大に懸念は強まる。与党内調整が進むことは依然立っていない。

その上で、安倍晋三首相は「政治判断」として、自衛隊の活動範囲から他国の領土や領海、領空を除外し、日本領域と公海上に限定する意向だ。だが、地理的制約の明文化を見送れば、政府の裁量権拡大に懸念は強まる。与党内調整が進むことは依然立っていない。

あすの朝刊休みます

6日(火)は休日といたしますので、7日(水)付の朝刊は休ませていただきます。6日のニュースは福島民友新聞のホームページ、携帯サイトでご覧ください。

福島の女関先に展示した。1989年11月には養鶏場を改装し、個人でみろく沢炭鉱資料館を開館。館長として県内外から訪れる来場者に炭鉱の歴史を伝えている。炭鉱で使われた用具などは06年に同市有形民俗文化財、07年には国の近代化産業遺産に指定された。

天気	6日	旧暦	大安							
		4月8日	大八白							
	6	12	18	24時	7日	8日	9日	10日	11日	12日
福島	10	10	0	21	10	30	20	20	50	50
二本松	10	10	0	20	8	10	30	20	50	50
郡山	10	10	0	18	8	10	30	20	50	50
須賀川	10	10	0	19	8	10	30	20	50	50
田村	10	10	0	19	6	10	30	20	50	50
白河	10	10	0	20	9	10	30	20	50	50
相馬	10	10	0	19	10	30	20	20	50	50
南相馬	10	10	0	19	10	30	20	20	50	50
浪江	10	10	0	20	7	10	30	20	50	50
平	10	10	0	19	12	10	30	20	50	50
小名浜	10	10	0	12	10	30	20	20	50	50
若松	10	10	0	18	8	10	40	30	20	50
喜多方	10	10	0	19	6	10	40	30	20	50
猪苗代	10	10	0	17	6	10	40	30	20	50
田島	10	10	0	16	6	10	40	30	20	50
東京	10	10	0	16	10	40	30	20	50	50
宇都宮	10	10	0	16	10	40	30	20	50	50
水戸	10	10	0	16	10	40	30	20	50	50
仙台	10	10	0	16	10	40	30	20	50	50
山形	10	10	0	16	10	40	30	20	50	50
新潟	10	10	0	16	10	40	30	20	50	50

安心・納得の価格
太陽光発電
施工ご相談承ります
内池工業
024-553-4322
www.uchi-ike.co.jp

編集日記

大きな地震が起きた。5日発生した福島県沖の地震は、もう一眠りして寝るまで、まだ小震が続いている。5日の速報には「東洋大」の被害が少なかった。帰宅していたら、とっさ

みんゆう県民大賞受賞者



復興への願いを

復興願う

願い、ときを上げた。行列は、戦国時代に三春を治めた田村義顯公「田村氏三代」を中心に構成。武將や女武者、華やかな着物を身を包んだ侍女など約150人が市街地を練り歩き、戦国時代の風俗を再現した。刀ややり、なぎなたなど各隊の演武も行った。三春、富岡、葛尾3町村の郷土芸能も披露され、参加者が古里への思いを新たにした。

霊山こどもの村 4年ぶりの太鼓の音

熱演に大きな拍手

伊達市霊山町の霊山こどもの村で5日、こどもの日に合わせて「霊山ちびっこ太鼓」の演奏が行われた。同施設で太鼓演奏のイベントが行われるのは震災後初めて、大勢の家族連れが勇壮な太鼓の音に酔いしれた。除染が進んだことから、4年ぶりに同施設で「霊山太鼓」が復活。霊山地区の



あべさん(前)から動物などの描き方を学ぶ参加者

地道に演奏活動継続

箱根駅伝の優勝導く

常磐炭田の歴史紹介

第24回みんゆう県民大賞に選ばれた受賞者は、芸術や文化、スポーツ、地域づくりなど各分野での努力と実績が高く評価され、受賞の栄誉を得た。東日本大震災、東京電力福島第一原発事故から3年が過ぎた今も、多くの県民が避難生活を送るなど、その影響から抜け出せない中、音楽普及を志したいとあきらまぬ演奏活動、育てた選手が勝ち取った県民を勇気づけた快挙、地域の歴史・産業遺産を後世に語り継ぐ地道な取り組みという功績がたたえられた。【一面に本記】

選考委員会は5日まで、社で開かれ、県内市町村や者、団体から受賞者を選ん、福島市の福島民友新聞、各種団体に推薦された候補者だ。

- みんゆう県民大賞歴代受賞者・団体 (敬称略)
- ◇第1回 松浦 京 (浪江町出身)
- ◇第2回 安積女子高合唱団(郡山市)
- ◇第3回 佐藤重劇(会津若松市)
- ◇第4回 重劇アールボ (会津若松市)
- ◇第5回 該当なし
- ◇第6回 いなほ陸友会 (東和町)
- ◇第7回 アミーゴ・デ・川保町 (川保町)
- ◇第8回 田村高陸上競技部男女駅伝チーム (三春町)
- ◇第9回 宮森 常雄 (会津若松市)
- ◇第10回 千葉の家花駒座 (檜橋枝村)
- ◇第11回 すかがわ国際短編映画祭実行委員会 (須賀川市)
- ◇第12回 只見音楽研究会 (只見町)
 - ▽特別賞=高橋 藤園 (福島市)
- ◇第13回 本田 武史 (郡山市出身)
- ◇第14回 がんを考える・ひいらぎの会 (福島市)
- ◇第15回 阿部 一郎 (福島市)
- ◇第16回
 - ▽芸術文化賞=柳橋歌舞伎保存会 (郡山市)
 - ▽スポーツ賞=福島大陸上競技部 (福島市)
 - ▽ふるさと賞=七日町通りまちなみ協議会 (会津若松市)
- ◇第17回
 - ▽芸術文化賞=青戸 可一 (富岡町)
 - ▽スポーツ賞=鈴木 猛史 (猪苗代町)
 - ▽ふるさと賞=斎藤 弘 (二本松市)
- ◇第18回
 - ▽芸術文化賞=郡山二中合唱部・管弦楽部 (郡山市)
 - ▽スポーツ賞=今井 正人 (相馬市出身)
 - ▽ふるさと賞=長沼まつり実行委員会 (須賀川市)
 - ▽特別賞=南カリフォルニア県人会
 - ▽芸術文化賞=横山 幸子 (伊達市)
 - ▽スポーツ賞=敦之 (会津若松市出身)
 - ▽ふるさと賞=二瓶 義松 (二本松市)
- ◇第20回
 - ▽芸術文化賞=知々田衛 (会津坂下町)
 - ▽スポーツ賞=増子 恵美 (三春町)
 - ▽ふるさと賞=パンプキウスを育てる会 (福島市)
 - ▽芸術文化賞=遠藤 千晶 (福島市出身)
 - ▽スポーツ賞=チームリストル (猪苗代町)
 - ▽ふるさと賞=福島子どもを愛する会 (福島市)
 - ▽本をひろめる会 (福島市)
 - ▽芸術文化賞=亮一 (福島市)
 - ▽スポーツ賞=柏原 竜二 (福島市出身)
 - ▽ふるさと賞=安齋 さと子 (福島市)
 - ▽特別賞=浪江焼麺太国 (浪江町)
- ◇第23回
 - ▽芸術文化賞=MJCアンサンブル (南相馬市)
 - ▽スポーツ賞=桃田 賢斗 (富岡高卒)
 - ▽スポーツ賞=ミズノ 清次 (富岡一中)
 - ▽ふるさと賞=遠藤 清次 (南相馬市)

予備審査を経た候補者、団体の最終審査を行う選考委員会は、内堀雅雄副知事を座長に、佐川正人県教育庁社会教育課長、中井勝己福島大学長、石井浩県商工会議所連合会常任幹事、古川雅之県社会福祉協議会副会長、田代栄嗣全農県本部副本部長、斎藤幸子県婦人団体連合会長、神田俊甫

福島民友新聞社長が審査に当たった。審査結果は、復興に歩む県民の思いに応えるものとされた。みんゆう県民大賞は、1989(平成元)年度の創

設から毎年1個人・団体を選出し、2003年度の第15回までに5人と9団体、特別賞1人が受賞。福島民友創刊10周年となった04年度の第16回から「芸術文化」「スポーツ」

「ふるさと」の3部門を設け、前回の第23回までに芸術文化賞5人と3団体、スポーツ賞6人と3団体、ふるさと賞4人と4団体、特別賞2団体が受賞している。

鈴木さんは競馬が好きで父の影響で中学時代に騎手を夢見た。中3の2011年1月、騎手を養成する地方競馬教養センターを受験したが、不合格。その後、震災で気仙沼市の自宅が全壊した。

ふるさと賞 渡辺 為雄さん

第24回みんゆう県民大賞に選ばれた受賞者は、芸術や文化、スポーツ、地域づくりなど各分野での努力と実績が高く評価され、受賞の栄誉を得た。東日本大震災、東京電力福島第一原発事故から3年が過ぎた今も、多くの県民が避難生活を送るなど、その影響から抜け出せない中、音楽普及を志したいとあきらまぬ演奏活動、育てた選手が勝ち取った県民を勇気づけた快挙、地域の歴史・産業遺産を後世に語り継ぐ地道な取り組みという功績がたたえられた。【一面に本記】

スポーツ賞 酒井 俊幸さん

真摯な気持ちで精進。さらけに前向き頑張る。好奇心が湧けば喜び



川朝子さん 長谷川ファミリ

酒井俊幸さん 話 思い 話 思い

渡辺為雄さん 話 炭鉱の歴史を

被災の18歳女性が騎手に 東日本大震災で被災した宮城県気仙沼市出身の新人騎手鈴木麻優さん(18)が5日まで、岩手県奥州市の水沢競馬場でデビューした。震災後一度は夢を諦めたが、家族にも支えられ、昨年度の騎手免許試験に合格。国内で8人目の現役女性騎手になった。デビュー戦となった第3レースの結果は9頭中6着。計3レースを終え一地で応援してくれる人にくさん感謝したいし、私を見ることで元気になってもらいたい」と、被災地を気遣った。

光栄な賞を得て、身の引き締まる思いを感じている。箱根駅伝での優勝は個人の力だけでは果たせない。さまざまなサポートがあつてこそ、これまでの結果をあくまでも通過点として、さらに前を向いて頑張りたい。

常磐炭田で実際に使っていた物という現実を見て知ってほしいと思い、展示を始めた。暗い坑内で使う道具一つ一つにも工夫がある。館内の資料を見た人の心に、ものづくりの好奇心が生まれたら、とてもうれい。

同イベントは6日午前10時から、相馬市総合福祉センターでも開かれる。

「ステイジ」上がり、「またきみにあいたい」を合唱した。

ベストセラー 第1位 紀伊國屋書店 新宿本店 (4/7-13 税込)

プーチン大統領の オバマ

新・守護霊メッセージ 新・守護

幸福の科学グループ 創始者 大川隆法 Ryuhō Okawa